

作物統計調査
令和7年産水稻の作付面積及び収穫量（中国地域・四国地域）

令和7年産主食用米収穫量は生産者の使用ふるい目幅ベースで中国地域が48万2,100トンで前年産に比べ3万2,100トン増加、四国地域が21万5,800トンで前年産に比べ1万6,400トン増加。

【調査結果の概要】

- 1 令和7年産の水稻の生産者が使用しているふるい目幅ベースの収穫量(主食用)^{※1}は、中国地域が48万2,100tで前年産に比べ3万2,100t増加、四国地域が21万5,800tで前年産に比べ1万6,400t増加した。

※1 生産者が使用しているふるい目幅（管内1.80～1.90mm）ベースのふるい上米。

これは、中国地域・四国地域とも作付面積(主食用)が増加したことに加え、10a当たり収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)が増加したためである。

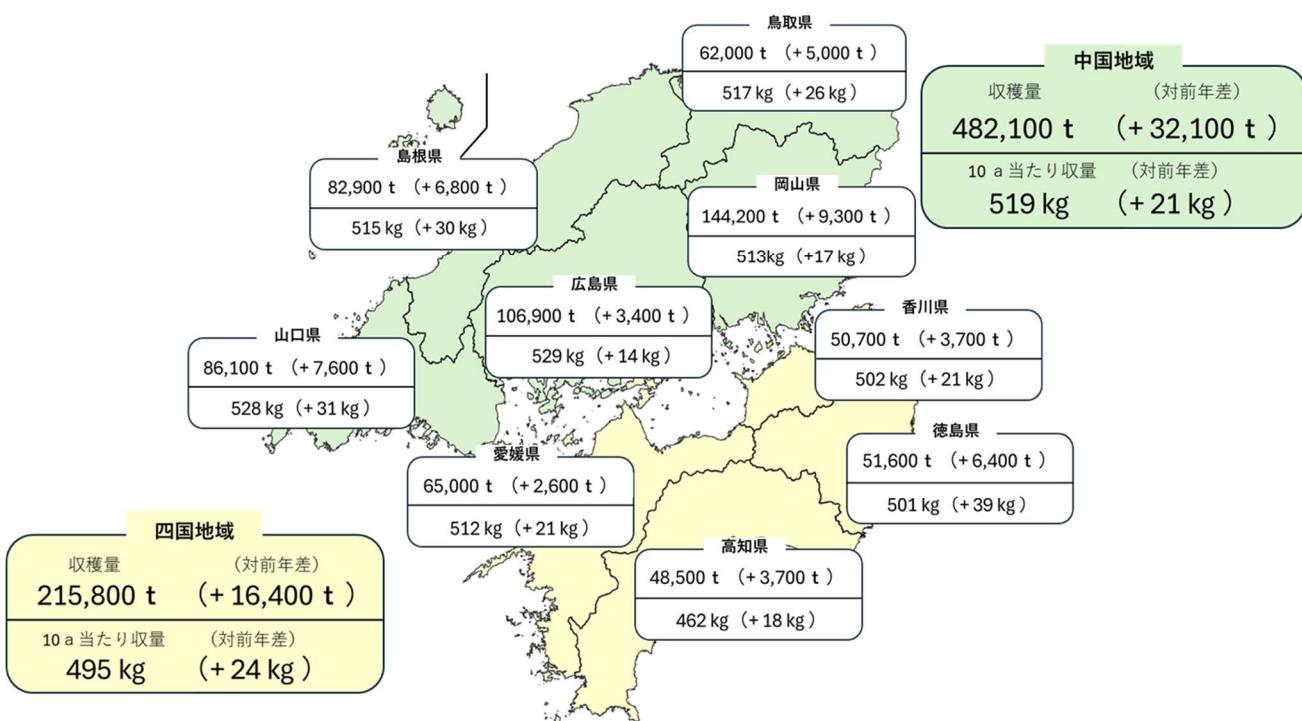
- 2 管内の作況単収指数は、鳥取県106、島根県106、岡山県103、広島県104、山口県107、徳島県108、香川県104、愛媛県104、高知県104となった。

参考

令和7年産の水稻のふるい目幅1.70mmベースの収穫量(主食用)^{※2}は、中国地域が49万9,400tで前年産に比べ3万6,400t増加、四国地域が22万tで前年産に比べ1万6,400t増加した。

※2 生産者が使用しているふるい目幅（管内1.80～1.90mm）ベースのふるい下米を含む。

図1 地域別・県別収穫量及び10a当たり収量
(生産者が使用しているふるい目幅ベース)



- 作付面積（主食用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日時点）を除いた面積である（22ページの【参考1】参照）。
- 10a当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 10a当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量である。
- 作況単収指数とは、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a当たり収量の比率である。
- 令和7年産調査から生産者の実感に合うよう、生産者が使用しているふるい目幅（1.80mm～1.90mm）で収穫量を公表することとし、前年産まで収穫量（主食用）として公表していたふるい目幅1.70mmの収穫量（主食用）は、令和7年産以降、収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））と表記することとした。

◎ 累年データ

水稻の年次別推移（中国地域・四国地域）

区分	作付面積 (主食用)	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10a当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい上米))	10a当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい下米含む))	
ha	kg	%	t	kg	%	t		
中国地域 令和2年産	98,200	455	93	447,700	484	96	475,700	90
3	95,900	492	108	472,000	517	107	496,100	97
4	92,800	498	101	462,900	524	101	486,400	100
5	90,900	497	100	452,300	514	98	467,800	101
6	90,400	498	100	450,000	512	100	463,000	101
7	92,700	519	104	482,100	538	105	499,400	105
四国地域 令和2年産	46,900	447	99	209,100	470	103	219,900	95
3	45,400	467	104	212,700	482	103	219,900	100
4	44,000	477	102	209,400	497	103	218,400	103
5	42,700	468	98	199,700	482	97	205,500	101
6	42,300	471	101	199,400	481	100	203,600	102
7	43,700	495	105	215,800	505	105	220,000	106

資料：農林水産省統計部『作物統計』

【調査結果】

- 1 令和7年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、中国地域で9万2,700ha（前年産に比べ2,300ha増加）、四国地域で4万3,700ha（同1,400ha増加）となった。これは、新規需要米や加工用米等からの転換等があったためである。
- 2 10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、中国地域で519kg（前年産に比べ+21kg）、四国地域で495kg（同+24kg）となった。
これを県別にみると、鳥取県517kg（同+26kg）、島根県515kg（同+30kg）、岡山県513kg（同+17kg）、広島県529kg（同+14kg）、山口県528kg（同+31kg）、徳島県501kg（同+39kg）、香川県502kg（同+21kg）、愛媛県512kg（同+21kg）、高知県462kg（同+18kg）となった。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、中国地域で48万2,100t（前年産に比べ3万2,100t増加）、四国地域で21万5,800t（同1万6,400t増加）となった。
- 4 管内の作況単収指数は、鳥取県106、島根県106、岡山県103、広島県104、山口県107、徳島県108、香川県104、愛媛県104、高知県104となった。
- 5 水稻作況標本筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）の玄米品位の状況は、中国地域で白未熟粒4.1%、死米0.3%、胴割粒0.7%、着色粒0.2%、四国地域で白未熟粒5.5%、死米0.6%、胴割粒0.6%、着色粒0.3%となった（表5参照）。

参考

ふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、中国地域で49万9,400t（前年産に比べ3万6,400t増加）、四国地域で22万t（同1万6,400t増加）となった。

図2 令和7年産水稻の作況標本筆の10a当たり収量の分布状況（中国地域）
(生産者が使用しているふるい目幅ベース)

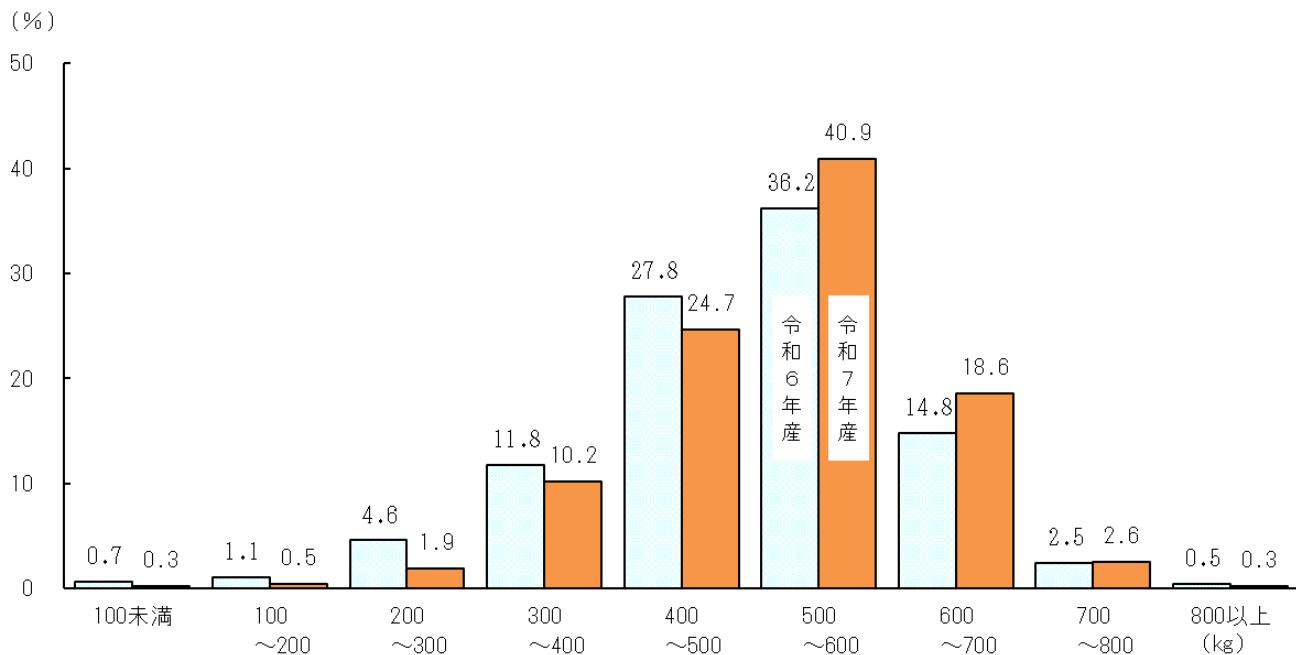


図3 令和7年産水稻の作況標本筆の10a当たり収量の分布状況（四国地域）
(生産者が使用しているふるい目幅ベース)

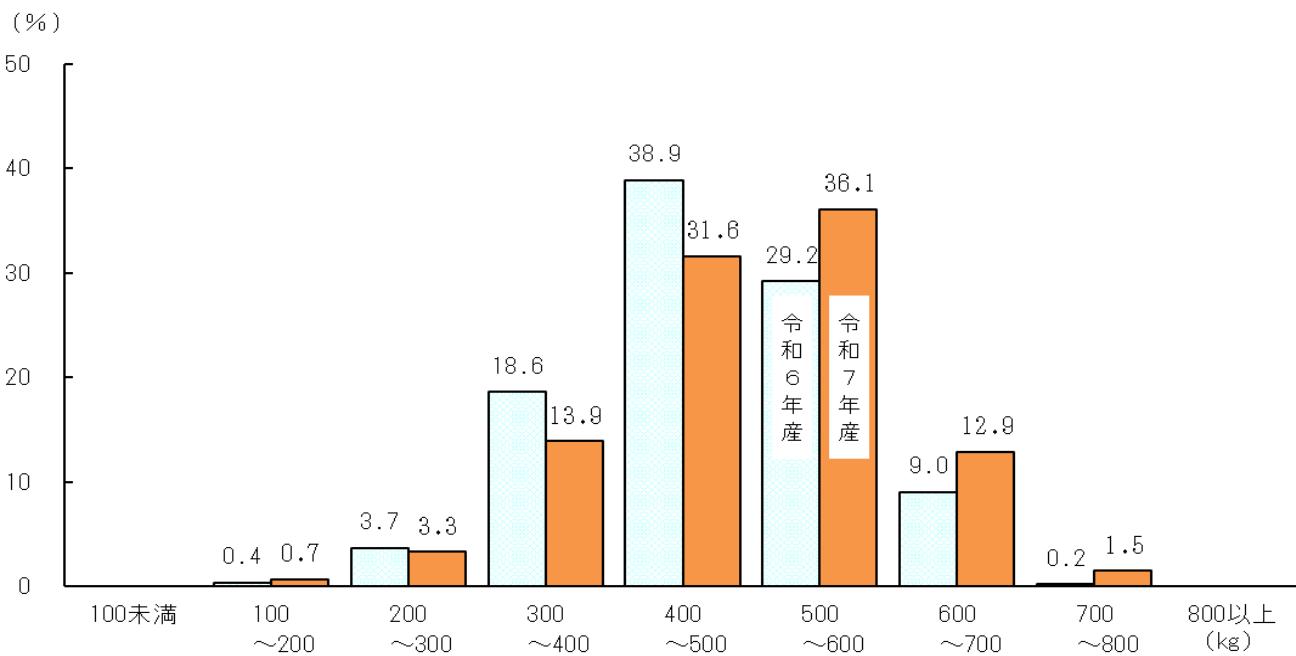


表1 令和7年産水稻の作付面積（主食用）及び収穫量

区分	作付面積（主食用）			生産者が使用しているふるい目幅で選別						
	実数 ①	前年産との比較		10a当たり収量			収穫量 (主食用(生産者ふるい上米))			
				実数 ②	前年産との 比較	対 比	実数 ③=①×②	前年産との比較		
		対	差					対	差	%
中国地域		ha	ha	%	kg	%	t	t	t	%
鳥取	92,700	2,300	103	519	104	482,100	32,100	32,100	32,100	107
島根	12,000	400	103	517	105	62,000	5,000	5,000	5,000	109
岡山	16,100	400	103	515	106	82,900	6,800	6,800	6,800	109
広島	28,100	900	103	513	103	144,200	9,300	9,300	9,300	107
山口	20,200	100	100	529	103	106,900	3,400	3,400	3,400	103
四国地域	16,300	500	103	528	106	86,100	7,600	7,600	7,600	110
徳島	43,700	1,400	103	495	105	215,800	16,400	16,400	16,400	108
香川	10,300	510	105	501	108	51,600	6,400	6,400	6,400	114
愛媛	10,100	330	103	502	104	50,700	3,700	3,700	3,700	108
高知	12,700	0	100	512	104	65,000	2,600	2,600	2,600	104
	10,500	400	104	462	104	48,500	3,700	3,700	3,700	108

区分	ふるい目幅1.70mmで選別						作況 単収 指數	
	10a当たり収量		収穫量 (主食用(生産者ふるい下米含む))					
	実数 ④	前年産との 比較	実数 ⑤=①×④	前年産との比較				
				対	差	対	比	
中国地域	kg	%	t	t	t	%		
鳥取	538	105	499,400	36,400	108	105		
島根	533	106	64,000	5,800	110	106		
岡山	543	108	87,400	8,100	110	106		
広島	530	104	148,900	10,200	107	103		
山口	544	103	109,900	4,200	104	104		
四国地域	547	107	89,200	8,100	110	107		
徳島	505	105	220,000	16,400	108	106		
香川	514	109	52,900	6,900	115	108		
愛媛	518	105	52,300	4,300	109	104		
高知	517	103	65,700	1,900	103	104		
	468	103	49,100	3,300	107	104		

- 注：1 作付面積（主食用）（①）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 2 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10a当たり収量（②）及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10a当たり収量（②）については、県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
- 4 10a当たり収量（④）及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑤）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 5 収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑤）については、県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
- 6 作況単収指數は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a当たり収量の比率である。

表2 令和7年産ふるい目幅別重量分布状況

単位：%

区分		計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
中国地域	重量割合	100.0	0.8	1.2	1.4	2.1	9.5	85.0
	前年値	100.0	0.5	0.9	1.1	1.8	8.5	87.2
	対前年差(±イント)	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	1.0	△ 2.2
鳥取	重量割合	100.0	0.8	1.3	1.2	2.2	9.2	85.3
	前年値	100.0	0.5	0.8	0.9	1.8	9.7	86.3
	対前年差(±イント)	0.0	0.3	0.5	0.3	0.4	△ 0.5	△ 1.0
島根	重量割合	100.0	0.7	1.2	1.5	1.8	9.2	85.6
	前年値	100.0	0.5	0.8	1.2	1.5	8.4	87.6
	対前年差(±イント)	0.0	0.2	0.4	0.3	0.3	0.8	△ 2.0
岡山	重量割合	100.0	0.9	1.3	1.4	2.4	11.6	82.4
	前年値	100.0	0.5	1.0	1.2	2.0	9.7	85.6
	対前年差(±イント)	0.0	0.4	0.3	0.2	0.4	1.9	△ 3.2
広島	重量割合	100.0	0.7	0.9	1.3	1.9	7.9	87.3
	前年値	100.0	0.5	0.6	0.9	1.5	6.2	90.3
	対前年差(±イント)	0.0	0.2	0.3	0.4	0.4	1.7	△ 3.0
山口	重量割合	100.0	1.0	1.1	1.5	1.8	8.8	85.8
	前年値	100.0	0.7	1.1	1.4	2.1	8.4	86.3
	対前年差(±イント)	0.0	0.3	0.0	0.1	△ 0.3	0.4	△ 0.5
四国地域	重量割合	100.0	0.8	1.2	1.7	2.4	10.8	83.1
	前年値	100.0	0.8	1.1	1.5	2.4	11.6	82.6
	対前年差(±イント)	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	△ 0.8	0.5
徳島	重量割合	100.0	0.9	1.4	2.3	2.5	12.0	80.9
	前年値	100.0	0.7	0.9	1.5	2.2	11.6	83.1
	対前年差(±イント)	0.0	0.2	0.5	0.8	0.3	0.4	△ 2.2
香川	重量割合	100.0	0.9	1.5	1.8	2.7	13.6	79.5
	前年値	100.0	0.7	1.3	1.9	2.7	14.0	79.4
	対前年差(±イント)	0.0	0.2	0.2	△ 0.1	0.0	△ 0.4	0.1
愛媛	重量割合	100.0	0.6	1.0	1.3	2.1	9.0	86.0
	前年値	100.0	0.9	1.2	1.4	2.5	11.7	82.3
	対前年差(±イント)	0.0	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.4	△ 2.7	3.7
高知	重量割合	100.0	0.7	1.0	1.3	2.2	9.1	85.7
	前年値	100.0	0.8	1.1	1.4	2.3	9.1	85.3
	対前年差(±イント)	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	0.0	0.4

注：1 ふるい目幅別重量分布とは、それぞれのふるい目幅で選別された玄米の重量の割合である。

2 剣取り・調製が終了した作況標本筆等のデータにより取りまとめたものである。

表3 令和7年産ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（主食用）

区分		単位	1.70mm 以上	1.75mm 以上	1.80mm 以上	1.85mm 以上	1.90mm 以上	2.00mm 以上
中国地域	10a当たり収量	kg	538	534	527	521	510	459
	収穫量（主食用）	t	499,400	495,300	489,400	483,600	473,400	425,500
鳥取	10a当たり収量	kg	533	530	523	517	507	458
	収穫量（主食用）	t	64,000	63,500	62,700	62,000	60,600	54,700
島根	10a当たり収量	kg	543	541	534	526	515	467
	収穫量（主食用）	t	87,400	86,800	85,700	84,400	82,900	74,900
岡山	10a当たり収量	kg	530	526	519	513	500	438
	収穫量（主食用）	t	148,900	147,600	145,600	144,200	140,600	123,300
広島	10a当たり収量	kg	544	540	535	529	519	475
	収穫量（主食用）	t	109,900	109,100	108,100	106,900	104,800	96,000
山口	10a当たり収量	kg	547	541	535	528	519	470
	収穫量（主食用）	t	89,200	88,300	87,300	86,100	84,500	76,600
四国地域	10a当たり収量	kg	505	501	495	487	475	421
	収穫量（主食用）	t	220,000	218,300	215,800	212,200	207,100	183,300
徳島	10a当たり収量	kg	514	512	501	491	479	417
	収穫量（主食用）	t	52,900	52,400	51,600	50,400	49,100	42,800
香川	10a当たり収量	kg	518	513	502	493	478	409
	収穫量（主食用）	t	52,300	51,800	50,700	49,800	48,400	41,300
愛媛	10a当たり収量	kg	517	513	512	505	494	448
	収穫量（主食用）	t	65,700	65,300	65,000	64,200	62,800	56,900
高知	10a当たり収量	kg	468	465	462	455	444	402
	収穫量（主食用）	t	49,100	48,800	48,500	47,800	46,800	42,300

表4 令和7年産水稻の作況標本筆の10a当たり収量の分布状況

区分		計	100kg 未満	100 ~200	200 ~300	300 ~400	400 ~500	500 ~600	600 ~700	700 ~800	800kg 以上
中国地域	筆数割合	100.0	0.3	0.5	1.9	10.2	24.7	40.9	18.6	2.6	0.3
	前年値	100.0	0.7	1.1	4.6	11.8	27.8	36.2	14.8	2.5	0.5
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.4	△ 0.6	△ 2.7	△ 1.6	△ 3.1	4.7	3.8	0.1	△ 0.2
鳥取	筆数割合	100.0	-	0.8	0.8	11.7	26.7	37.5	18.3	4.2	-
	前年値	100.0	-	-	4.2	13.3	30.8	39.2	12.5	-	-
	対前年差(ポイント)	0.0	-	0.8	△ 3.4	△ 1.6	△ 4.1	△ 1.7	5.8	4.2	-
島根	筆数割合	100.0	0.8	-	1.6	7.8	31.0	41.7	17.1	-	-
	前年値	100.0	1.9	1.3	2.5	16.9	27.5	34.8	13.8	1.3	-
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 1.1	△ 1.3	△ 0.9	△ 9.1	3.5	6.9	3.3	△ 1.3	-
岡山	筆数割合	100.0	0.5	0.5	3.7	11.7	22.9	38.7	18.7	2.8	0.5
	前年値	100.0	-	0.9	4.2	11.2	34.4	31.6	14.9	2.8	-
	対前年差(ポイント)	0.0	0.5	△ 0.4	△ 0.5	0.5	△ 11.5	7.1	3.8	0.0	0.5
広島	筆数割合	100.0	-	1.0	1.5	11.8	21.5	38.1	21.0	4.6	0.5
	前年値	100.0	1.5	2.1	6.2	8.7	20.5	33.2	19.0	6.7	2.1
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 1.5	△ 1.1	△ 4.7	3.1	1.0	4.9	2.0	△ 2.1	△ 1.6
山口	筆数割合	100.0	-	-	0.8	5.9	24.6	52.6	16.1	-	-
	前年値	100.0	-	0.7	5.9	9.6	25.2	46.7	11.9	-	-
	対前年差(ポイント)	0.0	-	△ 0.7	△ 5.1	△ 3.7	△ 0.6	5.9	4.2	-	-
四国地域	筆数割合	100.0	-	0.7	3.3	13.9	31.6	36.1	12.9	1.5	-
	前年値	100.0	-	0.4	3.7	18.6	38.9	29.2	9.0	0.2	-
	対前年差(ポイント)	0.0	-	0.3	△ 0.4	△ 4.7	△ 7.3	6.9	3.9	1.3	-
徳島	筆数割合	100.0	-	-	1.1	12.8	34.0	41.5	10.6	-	-
	前年値	100.0	-	-	3.2	16.8	48.8	25.6	5.6	-	-
	対前年差(ポイント)	0.0	-	-	△ 2.1	△ 4.0	△ 14.8	15.9	5.0	-	-
香川	筆数割合	100.0	-	-	0.9	14.8	35.7	33.0	13.0	2.6	-
	前年値	100.0	-	1.7	2.6	15.7	33.0	36.5	9.6	0.9	-
	対前年差(ポイント)	0.0	-	△ 1.7	△ 1.7	△ 0.9	2.7	△ 3.5	3.4	1.7	-
愛媛	筆数割合	100.0	-	-	2.5	10.8	26.7	40.0	18.3	1.7	-
	前年値	100.0	-	-	2.5	15.8	30.8	37.6	13.3	-	-
	対前年差(ポイント)	0.0	-	-	0.0	△ 5.0	△ 4.1	2.4	5.0	1.7	-
高知	筆数割合	100.0	-	2.3	7.7	16.9	30.8	31.6	9.2	1.5	-
	前年値	100.0	-	-	6.2	25.4	42.2	18.5	7.7	-	-
	対前年差(ポイント)	0.0	-	2.3	1.5	△ 8.5	△ 11.4	13.1	1.5	1.5	-

注：10a当たり収量は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。

表5 令和7年産水稻の玄米品位の状況

区分		白未熟粒	死米	胴割粒	着色粒
中國地域	重量割合	4.1	0.3	0.7	0.2
鳥取	重量割合	3.5	0.3	0.2	0.3
島根	重量割合	3.8	0.2	0.6	0.1
岡山	重量割合	4.6	0.5	0.5	0.3
広島	重量割合	3.5	0.3	1.3	0.2
山口	重量割合	4.3	0.3	0.8	0.3
四国地域	重量割合	5.5	0.6	0.6	0.3
徳島	重量割合	5.5	0.6	1.7	0.3
香川	重量割合	7.1	0.6	0.3	0.1
愛媛	重量割合	3.8	0.3	0.3	0.3
高知	重量割合	6.0	0.9	0.3	0.4

注：1 水稻作況標本筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）を、筆ごとに穀粒判別器を用いて品位分析を行い、その結果を集計したものであり、調製のうえ販売される玄米の品位とは異なる。

2 白未熟粒は白色不透明な部分の大きさが粒平面の1/2以上のものである粒、死米は粉状質で光沢がないものが2/3以上を占める粒、胴割粒は粒平面に横一條の亀裂がすっきり通っている粒、着色粒は着色部分の大きさが直径1mm以上かつ粒表面の2/3以下のものである粒をいう。

【調査結果（県別概要）】

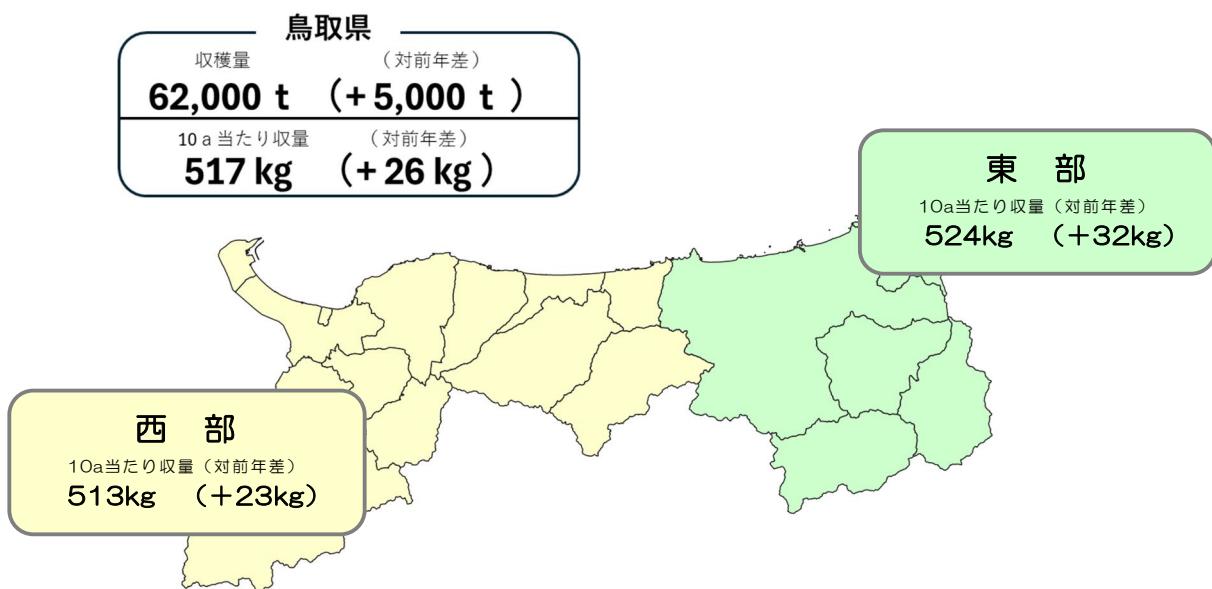
<鳥取県>

- 1 令和7年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、1万2,000haで、前年産に比べ400ha増加した。
- 2 10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）は、517kg（前年産に比べ+26kg）となった。作柄表示地帯別では、東部524kg（同+32kg）、西部513kg（同+23kg）となった。
これは、6月下旬から7月下旬にかけて高温・多照で推移したことから全もみ数が前年以上に確保されたことに加え、10月上旬の天候に恵まれ、粒の充実が促進されたためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）を乗じた収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、6万2,000t（前年産に比べ5,000t増加）となった。
- 4 鳥取県の作況単収指数は106となった。
- 5 水稻作況標本筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）の玄米品位の状況は、白未熟粒3.5%、死米0.3%、胴割粒0.2%、着色粒0.3%となった（表5参照）。

参考

ふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、6万4,000t（前年産に比べ5,800t増加）となった。

図4 収穫量及び10a当たり収量
(生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース)



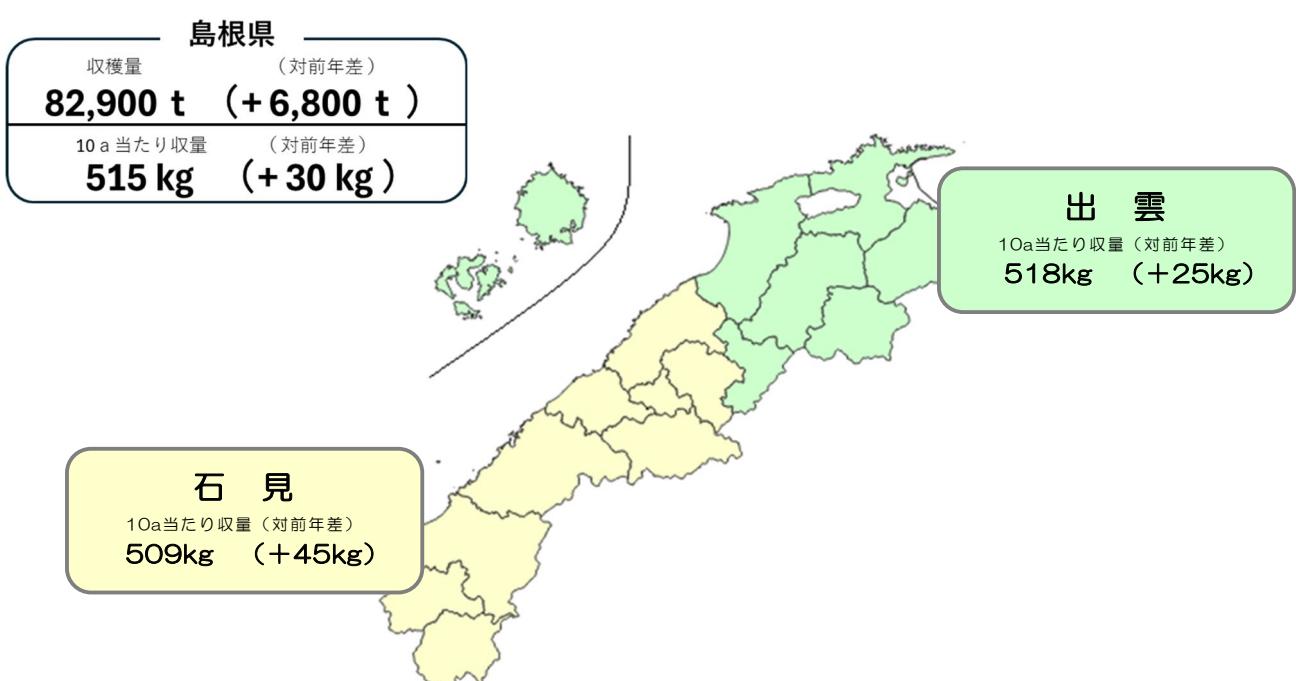
<島根県>

- 1 令和7年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、1万6,100haで、前年産に比べ400ha増加した。
- 2 10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.90mmベース）は、515kg（前年産に比べ+30kg）となった。作柄表示地帯別では、出雲518kg（同+25kg）、石見509kg（同+45kg）となった。
これは、6月下旬から7月下旬にかけて高温・多照で推移したことから穗数・もみ数が前年以上に確保されたことに加え、10月上旬の天候に恵まれ、粒の充実が促進されたためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.90mmベース）を乗じた収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、8万2,900t（前年産に比べ6,800t増加）となった。
- 4 島根県の作況単収指数は106となった。
- 5 水稻作況標本筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）の玄米品位の状況は、白未熟粒3.8%、死米0.2%、胴割粒0.6%、着色粒0.1%となった（表5参照）。

参考

ふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、8万7,400t（前年産に比べ8,100t増加）となった。

図5 収穫量及び10a当たり収量
(生産者が使用しているふるい目幅1.90mmベース)



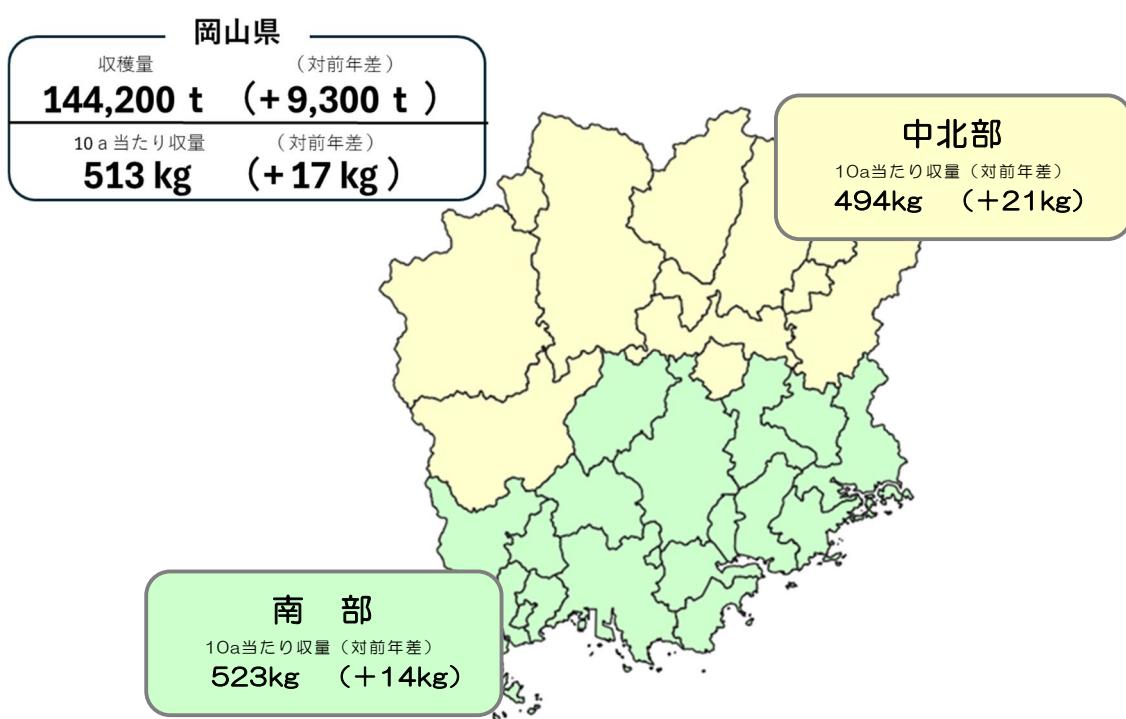
<岡山県>

- 1 令和7年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、2万8,100haで、前年産に比べ900ha増加した。
- 2 10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）は、513kg（前年産に比べ+17kg）となった。作柄表示地帯別では、南部523kg（同+14kg）、中北部494kg（同+21kg）となった。
これは、6月下旬から7月下旬にかけて高温・多照で推移したことから全もみ数が前年以上に確保されたことに加え、10月上・中旬の天候に恵まれ、粒の充実が促進されたためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）を乗じた収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、14万4,200t（前年産に比べ9,300t増加）となった。
- 4 岡山県の作況単収指数は103となった。
- 5 水稻作況標本筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）の玄米品位の状況は、白未熟粒4.6%、死米0.5%、胴割粒0.5%、着色粒0.3%となった（表5参照）。

参考

ふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、14万8,900t（前年産に比べ10,200t増加）となった。

図6 収穫量及び10a当たり収量
(生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース)



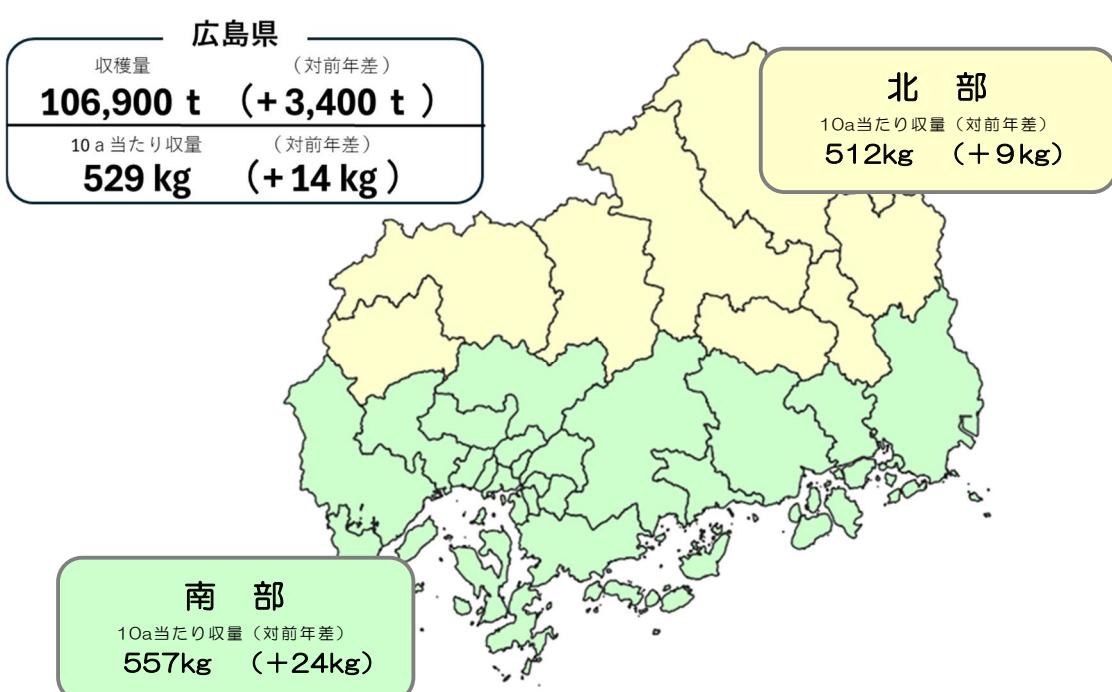
<広島県>

- 1 令和7年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、2万200haで、前年産に比べ100ha増加した。
- 2 10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）は、529kg（前年産に比べ+14kg）となった。作柄表示地帯別では、南部557kg（同+24kg）、北部512kg（同+9kg）となった。
これは、5月下旬の気温が前年を下回ったものの穂数が前年並みに確保されたことに加え、6月下旬以降おおむね天候に恵まれ、全もみ数が前年を上回ったためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）を乗じた収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、10万6,900t（前年産に比べ3,400t増加）となった。
- 4 広島県の作況単収指数は104となった。
- 5 水稻作況標本筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）の玄米品位の状況は、白未熟粒3.5%、死米0.3%、胴割粒1.3%、着色粒0.2%となった（表5参照）。

参考

ふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、10万9,900t（前年産に比べ4,200t増加）となった。

図7 収穫量及び10a当たり収量
(生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース)



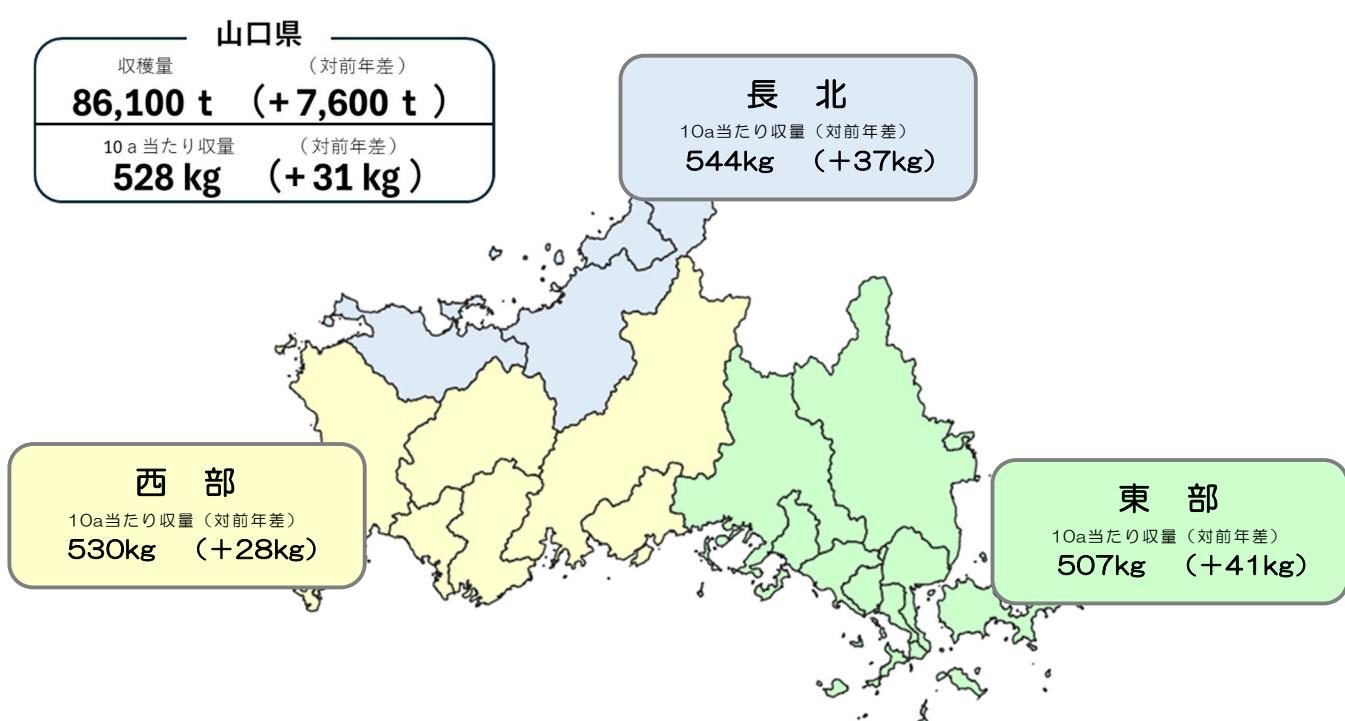
<山口県>

- 1 令和7年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、1万6,300haで、前年産に比べ500ha増加した。
- 2 10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）は、528kg（前年産に比べ+31kg）となった。作柄表示地帯別では、東部507kg（同+41kg）、西部530kg（同+28kg）、長北544kg（同+37kg）となった。
これは、6月下旬から7月下旬にかけて高温・多照で推移したことから穗数・もみ数が前年以上に確保されたことに加え、10月上・中旬の天候に恵まれたことにより、粒の充実が促進されたためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）を乗じた収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、8万6,100t（前年産に比べ7,600t増加）となった。
- 4 山口県の作況単収指数は107となった。
- 5 水稻作況標本筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）の玄米品位の状況は、白未熟粒4.3%、死米0.3%、胴割粒0.8%、着色粒0.3%となった（表5参照）。

参考

ふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、8万9,200t（前年産に比べ8,100t増加）となった。

図8 収穫量及び10a当たり収量
(生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース)



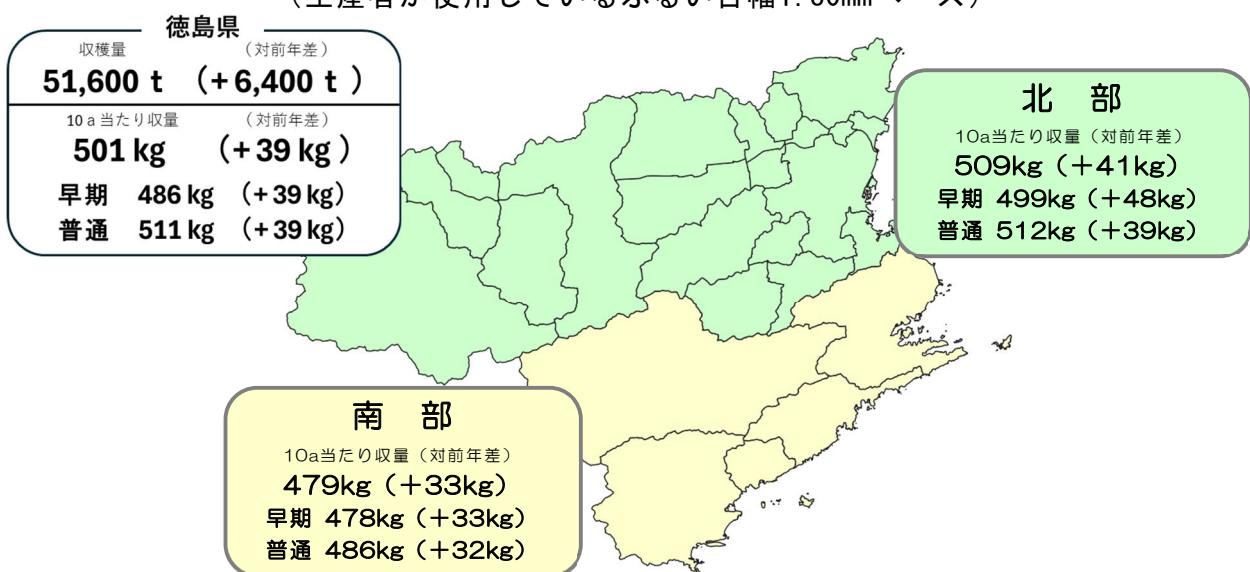
<徳島県>

- 1 令和7年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、1万300haで、前年産に比べ510ha増加した。
- 2 10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）は、501kg（前年産に比べ+39kg）となった。作柄表示地帯別では、北部509kg（同+41kg）、南部479kg（同+33kg）となった。
作期別では、早期栽培は486kg（同+39kg）となり、普通栽培は511kg（同+39kg）となった。
これは、早期栽培、普通栽培ともに6月下旬以降おおむね天候に恵まれ、全もみ数が前年以上に確保されたことに加え、粒の充実が促進されたためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）を乗じた収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、5万1,600t（前年産に比べ6,400t増加）となった。
- 4 徳島県の作況単収指数は108となった。作期別では、早期栽培109、普通栽培108となった。
- 5 水稻作況標本筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）の玄米品位の状況は、白未熟粒5.5%、死米0.6%、胴割粒1.7%、着色粒0.3%となった（表5参照）。

参考

ふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、5万2,900t（前年産に比べ6,900t増加）となった。

図9 収穫量及び10a当たり収量
(生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース)



<香川県>

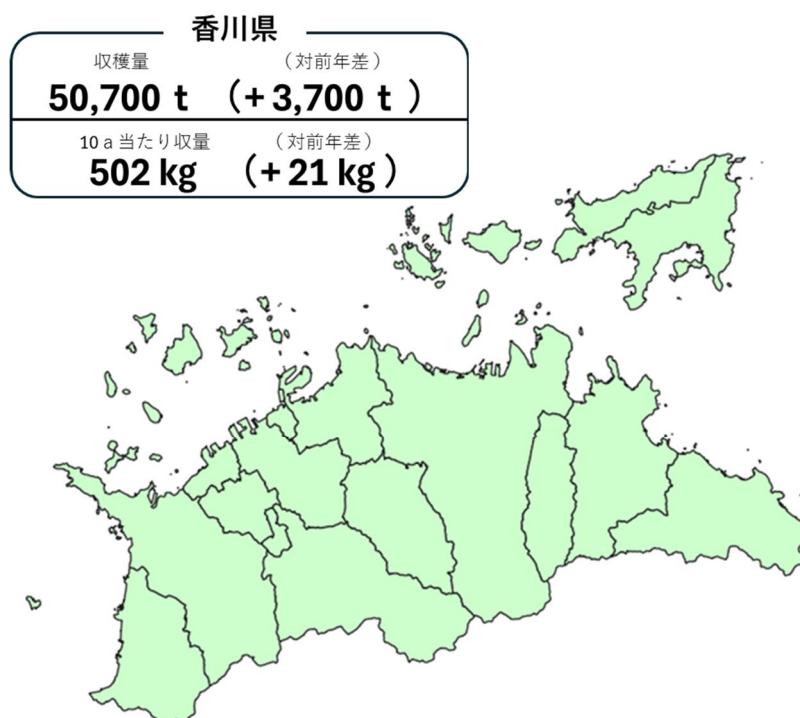
- 1 令和7年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、1万100haで、前年産に比べ330ha増加した。
- 2 10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）は、502kg（前年産に比べ+21kg）となった。
これは、6月下旬から7月下旬にかけて高温・多照で推移したことから穂数・もみ数が前年以上に確保されたことに加え、10月上旬の天候に恵まれ、粒の充実が促進されたためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）を乗じた収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、5万700t（前年産に比べ3,700t増加）となった。
- 4 香川県の作況単収指数は104となった。

- 5 水稻作況標本筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）の玄米品位の状況は、白未熟粒7.1%、死米0.6%、胴割粒0.3%、着色粒0.1%となった（表5参照）。

参考

ふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、5万2,300t（前年産に比べ4,300t増加）となった。

図10 収穫量及び10a当たり収量
(生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース)



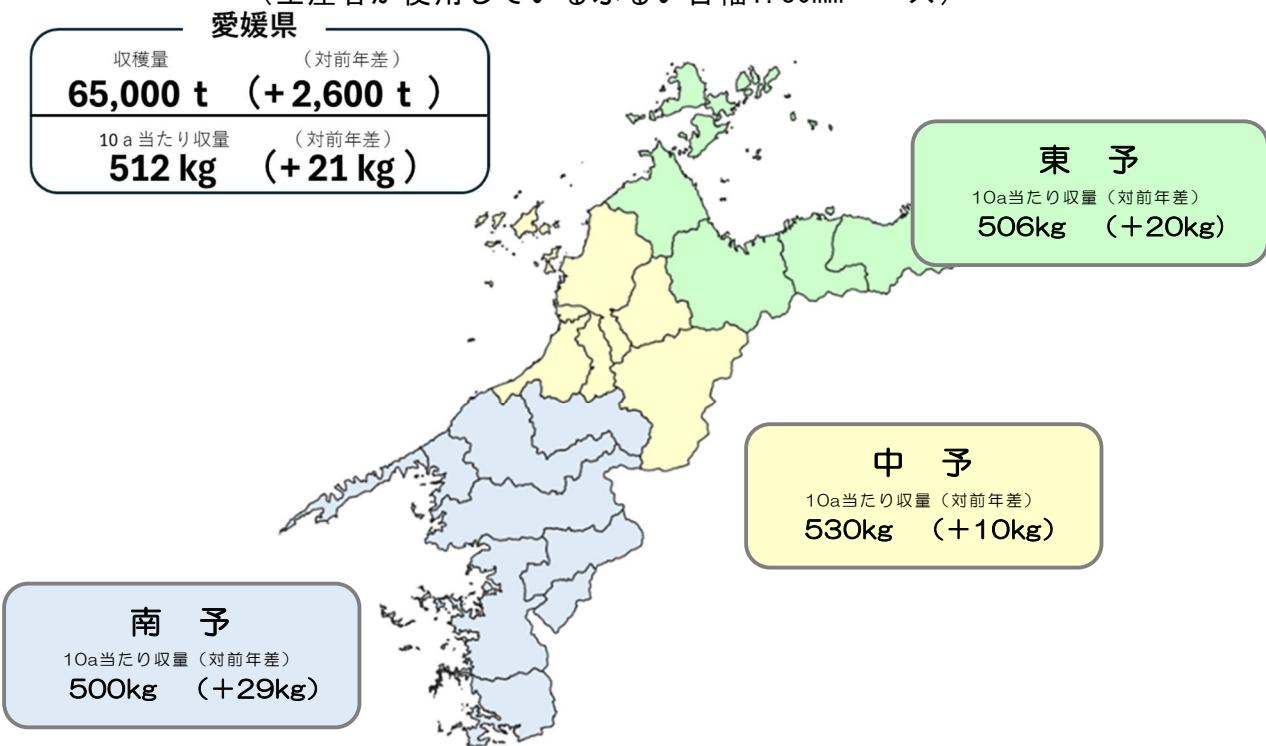
<愛媛県>

- 1 令和7年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、1万2,700haで、前年産並みとなった。
- 2 10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）は、512kg（前年産に比べ+21kg）となった。作柄表示地帯別では、東予506kg（同+20kg）、中予530kg（同+10kg）、南予500kg（同+29kg）となった。
これは、6月下旬から7月下旬にかけて高温・多照で推移したことから全もみ数が前年以上に確保されたことに加え、10月上・中旬の天候に恵まれ、粒の充実が促進されたためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）を乗じた収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、6万5,000t（前年産に比べ2,600t増加）となった。
- 4 愛媛県の作況単収指数は104となった。
- 5 水稻作況標本筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）の玄米品位の状況は、白未熟粒3.8%、死米0.3%、胴割粒0.3%、着色粒0.3%となった（表5参照）。

参考

ふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、6万5,700t（前年産に比べ1,900t増加）となった。

図11 収穫量及び10a当たり収量
(生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース)



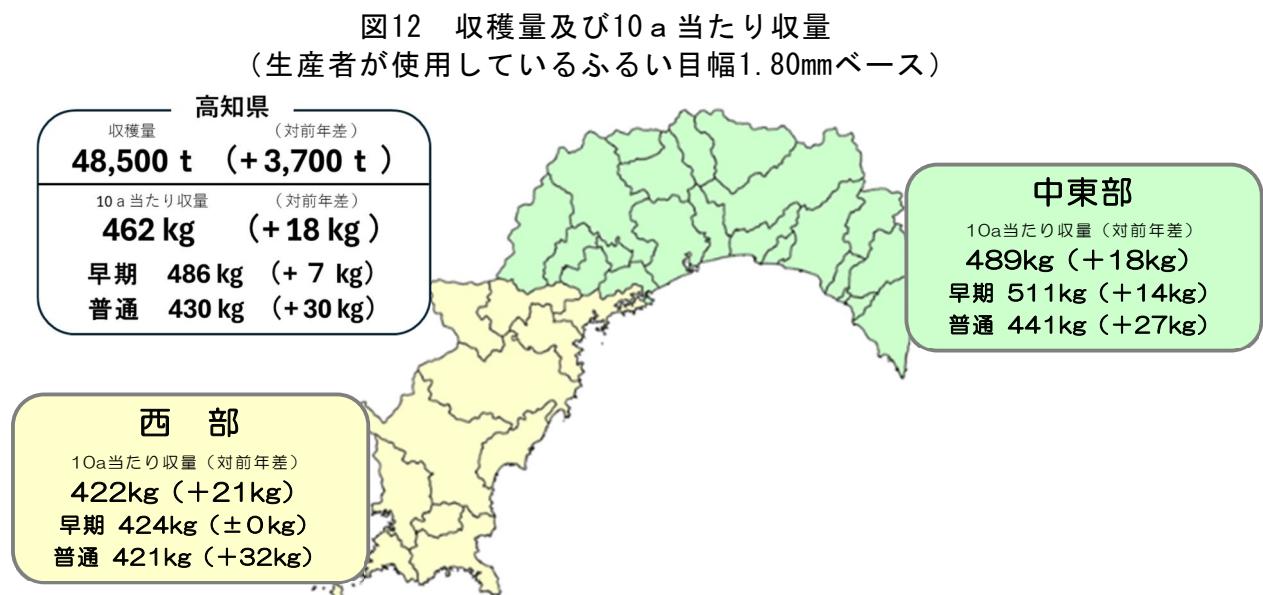
<高知県>

- 1 令和7年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、1万500haで、前年産に比べ400ha増加した。
- 2 10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）は、462kg（前年産に比べ+18kg）となった。作柄表示地帯別では、中東部489kg（同+18kg）、西部422kg（同+21kg）となった。
作期別では、早期栽培は486kg（同+7kg）となった。
これは、田植後の4月の気温が前年を下回ったことから穂数が前年を下回ったものの、7月が高温・多照で推移したこと等から粒の充実が促進されたためである。
普通栽培は430kg（同+30kg）となった。
これは、6月下旬から7月下旬にかけて高温・多照で推移したことから全もみ数が前年以上に確保されたことに加え、10月上旬の天候に恵まれ、粒の充実が促進されたためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）を乗じた収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、4万8,500t（前年産に比べ3,700t増加）となった。
- 4 高知県の作況単収指数は104となった。作期別では、早期栽培103、普通栽培106となった。

- 5 水稻作況標本筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）の玄米品位の状況は、白未熟粒6.0%、死米0.9%、胴割粒0.3%、着色粒0.4%となった（表5参照）。

参考

ふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、4万9,100t（前年産に比べ3,300t増加）となった。



◎ 累年データ

水稻の年次別推移

鳥取県

区分	作付面積 (主食用)	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい上米))	10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい下米含む))	
令和2年産	ha	kg	%	t	kg	%	t	
3	12,800	497	99	63,600	512	100	65,500	100
4	12,400	485	98	60,100	505	99	62,600	97
5	12,000	494	102	59,300	514	102	61,700	100
6	11,700	469	95	54,900	481	94	56,300	96
7	11,600	491	105	57,000	502	104	58,200	100
	12,000	517	105	62,000	533	106	64,000	106

島根県

区分	作付面積 (主食用)	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい上米))	10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい下米含む))	
令和2年産	ha	kg	%	t	kg	%	t	
3	16,800	476	96	80,000	511	101	85,800	98
4	16,500	483	101	79,700	521	102	86,000	99
5	16,100	485	100	78,100	519	100	83,600	100
6	15,900	489	101	77,800	515	99	81,900	101
7	15,700	485	99	76,100	505	98	79,300	101
	16,100	515	106	82,900	543	108	87,400	106

岡山県

区分	作付面積 (主食用)	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい上米))	10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい下米含む))	
令和2年産	ha	kg	%	t	kg	%	t	
3	28,900	475	94	137,300	505	98	145,900	96
4	27,900	498	105	138,900	524	104	146,200	101
5	27,100	496	100	134,400	524	100	142,000	101
6	26,900	497	100	133,700	514	98	138,300	101
7	27,200	496	100	134,900	510	99	138,700	100
	28,100	513	103	144,200	530	104	148,900	103

広島県

区分	作付面積 (主食用)	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい上米))	10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい下米含む))	
ha	kg	%	t	kg	%	t		
令和2年産	22,000	475	98	104,500	499	100	109,800	94
3	21,700	502	106	108,900	522	105	113,300	100
4	21,100	511	102	107,800	530	102	111,800	103
5	20,500	522	102	107,000	535	101	109,700	105
6	20,100	515	99	103,500	526	98	105,700	104
7	20,200	529	103	106,900	544	103	109,900	104

山口県

区分	作付面積 (主食用)	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい上米))	10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい下米含む))	
ha	kg	%	t	kg	%	t		
令和2年産	17,800	350	76	62,300	386	81	68,700	72
3	17,400	485	139	84,400	506	131	88,000	101
4	16,600	502	104	83,300	526	104	87,300	105
5	16,000	493	98	78,900	510	97	81,600	103
6	15,800	497	101	78,500	513	101	81,100	104
7	16,300	528	106	86,100	547	107	89,200	107

徳島県

区分	作付面積 (主食用)	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい上米))	10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい下米含む))	
	ha	kg	%	t	kg	%	t	
令和2年産	10,700	464	101	49,600	476	103	50,900	101
3	9,980	452	97	45,100	465	98	46,400	97
4	9,640	469	104	45,200	480	103	46,300	102
5	9,480	459	98	43,500	469	98	44,500	100
6	9,790	462	101	45,200	470	100	46,000	101
7	10,300	501	108	51,600	514	109	52,900	108
早期栽培								
令和2年産	…	443	98	…	453	99	…	97
3	…	443	100	…	455	100	…	97
4	…	463	105	…	473	104	…	103
5	…	439	95	…	450	95	…	98
6	…	447	102	…	454	101	…	101
7	…	486	109	…	496	109	…	109
普通栽培								
令和2年産	…	478	103	…	492	105	…	104
3	…	457	96	…	472	96	…	97
4	…	473	104	…	485	103	…	102
5	…	471	100	…	481	99	…	102
6	…	472	100	…	480	100	…	101
7	…	511	108	…	525	109	…	108

香川県

区分	作付面積 (主食用)	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい上米))	10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい下米含む))	
	ha	kg	%	t	kg	%	t	
令和2年産	11,600	480	103	55,700	496	105	57,500	104
3	11,300	485	101	54,800	501	101	56,600	103
4	10,800	493	102	53,200	511	102	55,200	105
5	10,100	485	98	49,000	496	97	50,100	102
6	9,770	481	99	47,000	491	99	48,000	100
7	10,100	502	104	50,700	518	105	52,300	104

愛媛県

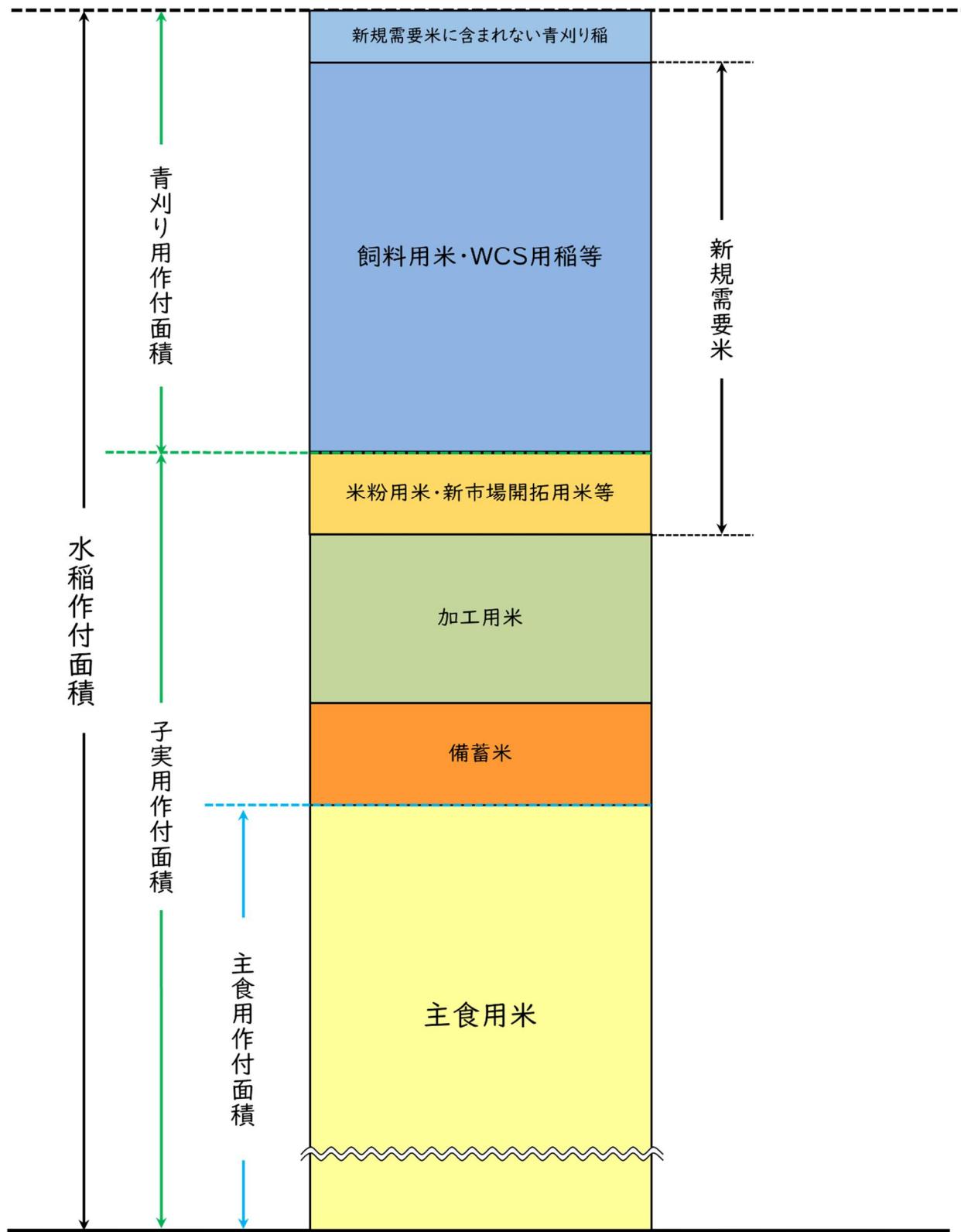
区分	作付面積 (主食用)	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい上米))	10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい下米含む))	
	ha	kg	%	t	kg	%	t	
令和2年産	13,300	429	93	57,100	474	101	63,000	91
3	13,200	489	114	64,500	510	108	67,300	106
4	13,000	489	100	63,600	524	103	68,100	106
5	12,800	483	99	61,800	505	96	64,600	104
6	12,700	491	102	62,400	502	99	63,800	102
7	12,700	512	104	65,000	517	103	65,700	104

高知県

区分	作付面積 (主食用)	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい上米))	10 a 当たり 収量	対前年比	収穫量 (主食用(生産者ふ るい下米含む))	
	ha	kg	%	t	kg	%	t	
令和2年産	11,200	417	101	46,700	433	103	48,500	95
3	11,000	439	105	48,300	451	104	49,600	101
4	10,600	447	102	47,400	460	102	48,800	104
5	10,200	445	100	45,400	454	99	46,300	104
6	10,100	444	100	44,800	453	100	45,800	102
7	10,500	462	104	48,500	468	103	49,100	104
早期栽培								
令和2年産	…	442	98	…	454	100	…	95
3	…	463	105	…	475	105	…	101
4	…	476	103	…	488	103	…	105
5	…	475	100	…	485	99	…	104
6	…	479	101	…	487	100	…	104
7	…	486	101	…	492	101	…	103
普通栽培								
令和2年産	…	387	105	…	407	109	…	95
3	…	407	105	…	420	103	…	101
4	…	412	101	…	425	101	…	104
5	…	408	99	…	415	98	…	103
6	…	400	98	…	409	99	…	100
7	…	430	108	…	436	107	…	106

【参考 1】

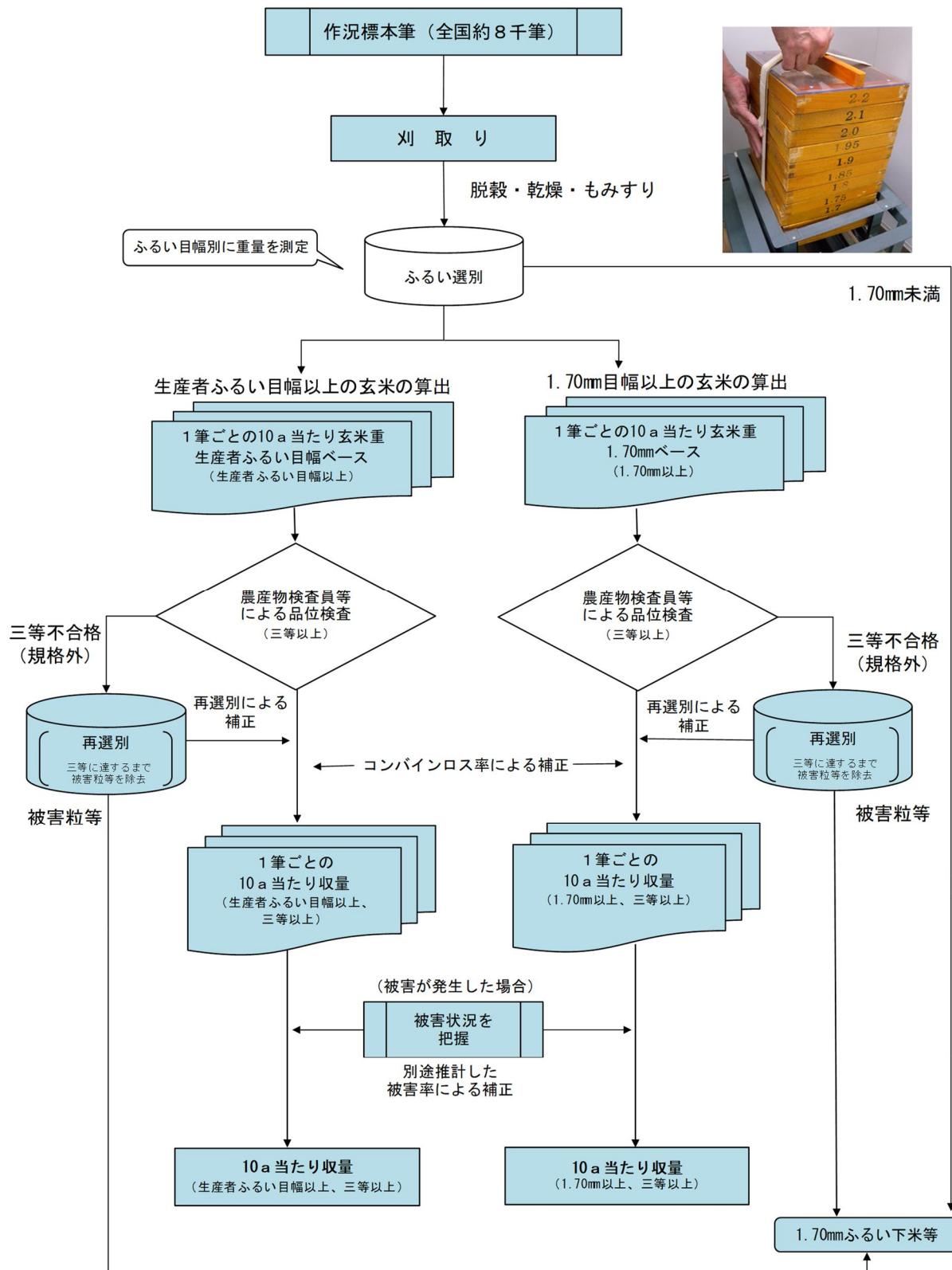
水稻作付面積の概念図



【参考2】

刈取り調査における10a当たり収量の算出方法

作況標本筆（【参考3】参照）ごとに一定面積の稻を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位以上に相当するよう選別を行い、その重さを計測し、コンバインロス率及び被害率による補正を行い10a当たり収量を算出している（下図参照）。

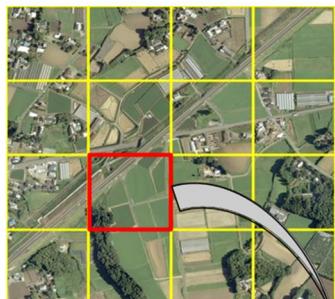


【参考3】

作況標本筆とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。）は、各都道府県の水稻の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で約8千筆）調査している。

全国の全ての土地
(母集団)



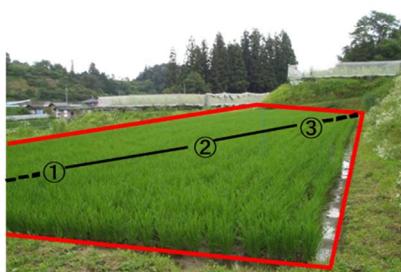
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
(200m四方の土地)



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
(全国で約8千筆)

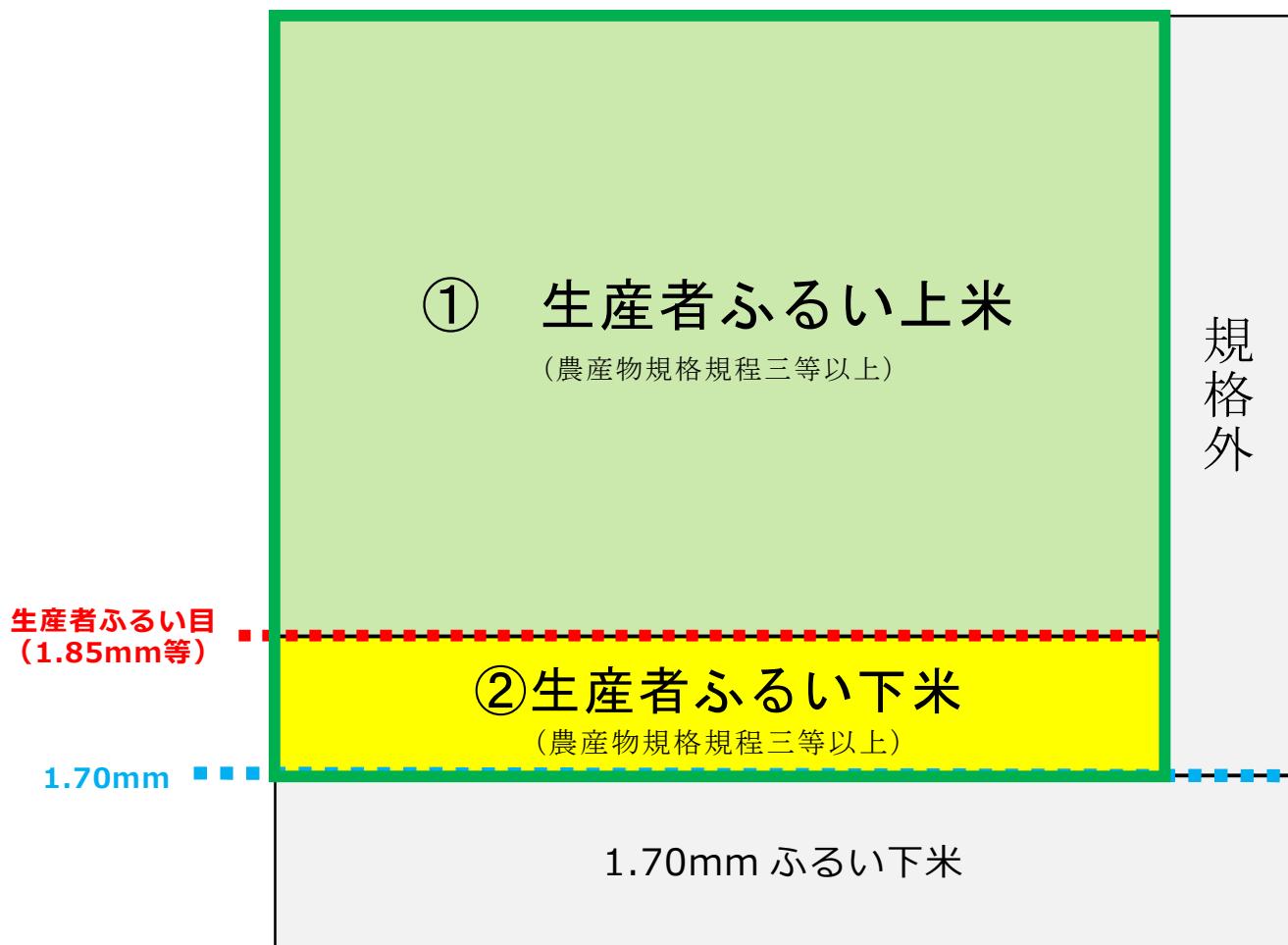


- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに 1 m^2 （合計 3 m^2 ）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【参考 4】

水稻収穫量調査の収穫量イメージ

- ① 収穫量（生産者ふるい上米）は、都道府県ごとに最も使用されている生産者ふるい目（1.85、1.90mm 等）以上で農産物規格規程三等以上の収穫量を対象としている。
- ② 収穫量（生産者ふるい下米）は、ふるい目幅 1.70mm 以上、農産物規格規程三等以上で生産者ふるい目幅未満の収穫量を対象としている。
- ③ 収穫量（生産者ふるい下米含む）は、①と②をあわせた収穫量（緑枠）を対象としている。



【統計表】

https://www.maff.go.jp/chushi/info/toukei/00chushi/attach/xls/r07sui00_syuukaku.xlsx

【調査の概要】

- ・面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

- ・作況調査（水陸稻、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【水稻調査結果の主な利活用】

- ・主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・「食料・農業・農村基本計画」における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び検証のための資料
- ・米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

- ・本資料は中国四国農政局ホームページ「統計情報」で御覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/chushi/info/>

- ・確定した詳細な数値は、農林水産省ホームページに掲載（令和8年2月予定）します。
- ・公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省>組織別から探す>農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

病害虫に関する情報：農林水産省>組織別から探す>消費・安全局>病害虫の防除に関する情報

<https://www.maff.go.jp/j/syowan/syokubo/gaicyu/>

※ 上記リンクでは、病害虫の防除に関する情報として、総合防除の推進や発生予察事業による病害虫の発生予測等について掲載しています。

なお、「植物防疫年報」として公開している病害虫の発生面積は病害虫の発生予測の参考として調査を行っているもので、農作物の作付面積、収量等の調査を行っている作物統計調査とは調査目的や調査方法等が異なります。

お問合せ先

◎本統計調査結果について

中国四国農政局 統計部 生産流通消費統計課

電話 : 086-224-4511(代表) 内線 2746、2741、2740

時間外直通電話 : 086-222-4450

◎農林水産統計全般について

中国四国農政局 統計部 統計企画課

電話 : 086-224-4511(代表) 内線 2721、2727

時間外直通電話 : 086-224-9426



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



データの力で。

農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries